

第1号議案資料

2021年度事業報告書及び決算報告書

2021年度事業報告書及び決算報告書

A. 事業報告

循環型社会の構築を目指し、行政・消費者・産業界が緊密な連携のもとに3R（リデュース：発生抑制、リユース：再使用、リサイクル：再資源化）活動を推進することを目的として、活動を行った。

前年度から続く新型コロナウイルス感染症、またそれに伴う緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの影響により、活動の実施方法の変更・中止などが続いた。

一方で、セミナーや各委員会の開催などを全てオンライン会議システムにより実施したことにより、新しい形式の運営、ペーパーレス、（会議室の使用コストなど）支出の削減に結び付いた。

また、デジタル化への移行できるものは、検証の上、対応して、郵送のやり取りの削減や押印廃止の取組を進めた。

資源循環の分野としては、6月に「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が公布され（施行は2022年4月1日施行）、当協議会でも、2022年1月の3R活動推進フォーラム等との共催セミナーのテーマとして取り上げた。

個々の事業については、次のとおりである。

2021年度事業報告書及び決算報告書

1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰の実施

3Rに率先して取り組み、顕著な実績を挙げている個人・グループ・学校・事業所・地方公共団体等を表彰する「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」を実施した。

2021年1月中旬に推薦要領を協議会会員団体、都道府県、政令指定都市、中核市、特別区、建設副産物対策地方連絡協議会に配付し募集を行った結果、20推薦機関（前年比8機関減）から90件（前年比7件減）の応募があった。

審査委員会（委員長 東京大学名誉教授 木村文彦氏 他13名）において厳正な審査を行った結果、内閣総理大臣賞1件（「事業所・地方公共団体等」分野のみ）、経済産業大臣賞1件、国土交通大臣賞3件、リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞25件、計30件（前年比16件減）を表彰するとの結論に至り、10月26日付けで表彰した。

表彰式は、当時発出されていた緊急事態宣言が表彰式当日までに解除されるか未定であったこと、新型コロナウイルス感染症、特に変異株（デルタ株）が流行っていたこと、病床数がひっ迫していたことなどを勘案して、挙行しなかった。

2021年度事業報告書及び決算報告書

(1) 受賞者

内閣総理大臣賞 (1件)

ヤマダイインフラテクノス株式会社 (「事業所・地方公共団体等」分野)

※ 「個人・グループ・学校」分野は該当なし

経済産業大臣賞 (1件)

ウエノテックス株式会社

国土交通大臣賞 (3件)

回転式破碎混合工法研究会

公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団

株式会社熊谷組

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会会長賞 (25件)

※ 会長賞の受賞者名及び受賞取組 (全受賞者) の内容は
下記協議会ホームページをご覧ください。

https://www.3r-suishinkyogikai.jp/commend/jisseki/jisseki_r03/

2021年度事業報告書及び決算報告書

(2) 表彰結果の広報

受賞者の受賞した活動の概要をまとめた「令和3年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰結果発表」冊子を900部作成した。コロナ禍で集合式のイベントを開催するめどがないため、配付する機会が少ないことを考慮して、前年度と比べて100部少なく作成した。

このうち、296部を審査結果解禁日（10月22日）に合わせて関係省庁の記者クラブに配付した。また、協議会会員、推薦機関に1部ずつ配付した。

(3) 次年度に向けた対応

表彰件数は漸減傾向にあり、推薦募集件数の増加のための方策については、審査委員会において継続的に審議している。賞に値する取組にも関わらず応募されていない取組がまだあると考えられるので、これらの取組が推薦されるよう方策を検討している。

また、第3回審査委員会の企画運営委員会においても検討課題としている。

2021年度事業報告書及び決算報告書

(4) スケジュール

募集の期間を長く置くために、前年度から募集を開始している。

<2021年度（令和3年度）の表彰の主な実績>

(2021年)

1月18日 推薦募集開始（推薦機関への案内、ホームページ等で紹介）

～ 2021年度開始 ～

4月19日 推薦募集締切

5月～8月 審査（書面審査、審査委員会）

10月26日 表彰式

12月 3日 次年度に向けての検討（審査委員会）

(2022年)

1月31日 各省への結果報告

2021年度事業報告書及び決算報告書

2. リデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークの普及・利用促進

企業・地方自治体・市民団体・業界団体・学校等の要請に応じて、3R実践活動や啓発・教育活動の場でリデュース・リユース・リサイクルキャンペーンマークを広く使用していただくことにより、3Rに対する意識の向上や啓発を図った。

具体的には3R推進功労者等表彰や3R関連のイベントなどの場を活用して、3Rに積極的に取り組む企業・グループ・団体等に対して3Rキャンペーンマークの利用を勧め、3R推進のアイコンとしての認知度向上を図ると共に、人々の目に触れる機会を増やして3Rに対する意識の訴求を図っている。

2020年11月に、（一社）産業環境管理協会 資源・リサイクル促進センターと合同で、全国1,790の市区町村の3R・循環型社会推進ご担当者宛に、キャンペーンマーク紹介（合わせて表彰のご案内）ちらしを送付した。この取組は2016年度（平成28年度）から始めて、今回で6回目になる。

これまでやり取りのなかった市区町村（クリーンセンターを含む）などからの問い合わせや使用したことのご連絡もいくつもあり、一定の効果があったと考えられる。

また、企業等からの申請件数は21件あった。ここ数年は毎年20件前後で推移していて、傾向としては地方の中小企業からの申請が増えている。

2021年度事業報告書及び決算報告書

3. 活動強化策の実施

協議会活動を充実させるべく、活動強化策を継続している。内容については、企画運営委員会で審議の上で実施した。

(1) 企画運営委員会等の開催

1) 企画運営委員会

前年度に引き続き、協議会活動を充実させるべく活動強化策の具体的な内容の検討や意見交換を行った。

<実績>

(ポスター選考会) 2021年 7月 6日 (オンライン開催)

第1回 2022年1月26日～31日 (書面審議)

第2回 2022年5月12日 (オンライン開催)

次ページに委員名簿を掲載する。

2021年度事業報告書及び決算報告書

<2021・2022年度企画運営委員>

(委員長)	中田 良平	スチール缶リサイクル協会 専務理事
(副委員長)	大石美奈子	(公社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 代表理事・副会長 (2022年5月12日まで)
	根村 玲子	(公社) 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 環境委員会副委員長 (2022年5月12日から)
(委員)	加藤 聡	ガラス再資源化協議会 代表幹事
	田中 希幸	ガラスびん3R促進協議会 理事・事務局長
	新妻 弘章	建設副産物リサイクル広報推進会議
	工藤 操	(一財) 消費科学センター 理事
	細川 浩之	(一社) セメント協会 生産・環境部門リーダー
	小田 直樹	電気事業連合会 立地電源環境部長
	奥田 篤	(一社) 日本ガス協会 企画部 エネルギー・環境グループマネジャー
	天川 紀子	(一社) 日本建設業連合会 次長
	羽富 修	(一社) 日本産業機械工業会 環境装置部長
	遠矢 斉	(一社) 日本自動車工業会 安全・環境領域2部 部長
	中原 靖	(一社) 日本自動車部品工業会 技術部 次長
	島崎 直昭	(一社) 日本道路建設業協会 常勤参与
	平田 成	(公社) 日本包装技術協会 包装材料研究室長
	富田 斉	(一社) プラスチック循環利用協会 広報学習支援部長

また、3Rに係る省庁のご担当者にも、オブザーバーとしてご出席いただいている。

2021年度事業報告書及び決算報告書

(2) 企画内容

1) 優秀3R推進活動発表会

前年度の3R推進功労者等表彰の大臣賞受賞者に、受賞の取組や受賞後の発展について発表していただき、行政所管、産業分野を越えて広く共有化、普及啓発を図った。

日 時： 2021年6月1日(火曜日)15:00～16:50

開催方法： オンライン開催 (Webexを使用)

発表者： マルキン食品株式会社 (農林水産大臣賞受賞)

平林金属株式会社 (経済産業大臣賞受賞)

株式会社ウエルクリエイト (経済産業大臣賞受賞)

トータルケア・システム株式会社 (環境大臣賞受賞)

北海道鹿追町 (内閣総理大臣賞受賞)

当日のご講演内容については、協議会ホームページをご参照ください。

https://www.3r-suishinkyogikai.jp/seminar/winners/winners_r03/

2021年度事業報告書及び決算報告書

2) 3R推進ポスターの制作・配布

工場、工事現場、オフィス、流通などのビジネス現場や公共の場において事業者により3R活動の推進を訴求する「3R推進ポスター」を制作し、10月の3R推進月間に合わせて会員団体に配布した。ポスターのデザインは、協議会主催によるデザインコンテストで公募し、その最優秀賞作品を使用した。

コンテストはデザインを募集するという役割に加え、中学を卒業後、3Rについて学ぶ機会の減った人たちに改めて3Rについて考えていただくという意図もあり、募集に際しては3Rを簡単に紹介したリーフレット『3Rって何だろう?』を案内に同封し、協議会ホームページのコンテンツを紹介するなど、3Rをもう一度再認識していただくように資料等を用意している。

<デザインコンテスト概要>

デザイン募集期間： 4月1日 ~ 5月31日（郵送分）
4月1日 ~ 6月4日（Webフォーム）
応募作品数： 256点

<3R推進ポスター>

ポスター印刷枚数： 800部（A1サイズ）
配付先： 445宛先
・協議会会員、地方公共団体は、各2枚
・専門学校等は各1枚



2021年度の3R推進ポスター

2021年度事業報告書及び決算報告書

3) イベント等の協業（セミナー、シンポジウムの後援、共催、出展等）

（1）後援

- ・「実践活動としてのスチール缶を含む集団回収を通じて環境教育に取り組む小学校及び中学校への支援事業」（スチール缶リサイクル協会、2021年4月21日）
- ・「2021建設リサイクル技術発表会技術展示会」（建設副産物リサイクル広報推進会議、2021年7月5日）
- ・「令和3年度建設副産物リサイクル広報用ポスター」（建設副産物リサイクル広報推進会議、2021年7月5日）
- ・「第16回容器包装3R推進フォーラム」（3R推進団体連絡会、2021年9月17日）

（2）出展

- ・第15回3R推進全国大会 in 和歌山（環境省）
開催日時： 2021年10月20日
開催方法： オンライン配信（10月22日～11月19日にアーカイブ配信（YouTube））

（3）共催

- ・循環・3Rリレーセミナー（3R活動推進フォーラムとの共催、2022年1月31日）
- ・令和3年度 第1回 3団体交流ミーティング
～プラスチック資源循環を考えるための現場からのメッセージ～
（3R活動推進フォーラム、プラスチック容器包装リサイクル推進協議会との3者共催、2022年3月3日）

2021年度事業報告書及び決算報告書

4) 3R推進協議会事業活動の広報強化

(1) 「3R推進功労者等表彰」推薦応募の掘り起こしについて

- ・ 2021年3月にNEW環境展及び併設された技術展を訪ね、興味深い取組を行っている企業に対して、表彰のご案内をした。
- ・ 推薦機関などが見つからない応募希望に対しては、事務局から推薦機関（会員団体）や都道府県等に対して仲介を行った。

(2) ホームページの更新

- ・ 年度内に行った事業の成果物については、都度ホームページで公開した。
また、会員団体からのお知らせ、3Rに関連する内外の資料やオンラインセミナーの紹介をトップ画面の新着情報で行った。

2021年度事業報告書及び決算報告書

B. 決算報告

収入はほぼ予定どおりであったが、支出は大幅に減少した。

支出が大幅に減少した要因としては、3R推進功労者等表彰の表彰式を中止したことにより、会場費用などの表彰関連の支出が少なかったことによる。

年度内における資産の増減という点では、200万円ほど増加した。

郵送や物流など費用が支出の重荷のひとつになっており、可能な範囲で書類等のデジタル化を進めることにより削減を図っているが、継続的に検討が必要である。

また、会議室代などの支出も、オンライン会議を取り入れることによって削減されているので、メリット／デメリットを考慮しながら、無理のない形で新しい運営方式を模索する必要がある。

収支決算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録及び計算書類に対する注記は、次ページ以降のとおりである。

2021年度事業報告書及び決算報告書

B. 決算報告（続き）

リデュース・リユース・リサイクル推進協議会
2021年度収支決算書
自 2021年 4月 1日 至 2022年 3月31日

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 額	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	4,210,000	4,210,000	0	
2. 雑収入（受取利息収入等）	0	40	40	
3. 前期繰越収支差額	3,315,000	3,315,843	843	
当期収入合計（A）	7,525,000	7,525,883	883	
II 支出の部				
1. リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰事業の実施	3,400,000	1,415,868	△ 1,984,132	委員会関係費、推薦要領・表彰結果冊子印刷費・発送費、表彰状作成費等。表彰式会場費は、会場キャンセル代のみ。
2. 3Rキャンペーンマークの普及	50,000	35,640	△ 14,360	3Rキャンペーンマークの紹介ちらしを印刷（全市区町村に配付）
3. 企画運営委員会経費	0	0	0	委員会等は、オンライン形式で開催
4. 3R推進事業費	1,000,000	592,591	△ 407,409	サーバーレンタル費、ドメイン名使用料、優秀3R推進事例発表会（講演者金）、3R推進ポスター（作品募集、印刷、賞金）、3R活動推進フォーラムとの共催イベント（会場費、謝金、印刷費等） ※3R推進全国大会は、オンライン開催のため、支出なし
5. その他経費	50,000	0	△ 50,000	総会・理事会開催費用（オンライン開催のため、支出なし）
6. 事務局経費	0	0	0	上記1～5に係る事務局経費（人件費及び事務局運営諸費用）。実際に発生した事務局経費は、協議の結果、産業環境管理協会が負担
7. 管理費	100,000	34,485	△ 65,515	通信費、消耗品購入費、振込手数料等（直接事務に係る費用のみ。事務局運営諸費用を除く）
当期支出合計（B）	4,600,000	2,078,584	△ 2,521,416	
当期収支差額（A）－（B）	2,925,000	5,447,299	2,522,299	

2021年度事業報告書及び決算報告書

B. 決算報告（続き）

正味財産増減計算書

（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

（単位：円）

科目	金額
I 増加の部	
当期経常収益	4,210,040
増加額合計	4,210,040
II 減少の部	
当期経常費用	2,078,584
減少額合計	2,078,584
当期正味財産増減額	2,131,456
前期繰越正味財産額	3,315,843
期末正味財産合計額	5,447,299

貸借対照表

2022年3月31日現在

（単位：円）

科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
現金	17,282	未払金等	59,040
普通預金	4,965,070		
未収入金	80,000		
前払費用等	443,987	III 正味財産の部	5,447,299
合計	5,506,339	合計	5,506,339

2021年度事業報告書及び決算報告書

B. 決算報告（続き）

財 産 目 録

2022年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
I 資 産 の 部	
現金 現金手許残高	17,282
普通預金 三菱UFJ銀行本店	4,965,070
未収入金	80,000
前払費用	443,987
資 産 合 計	5,506,339
II 負 債 の 部	
未払金等	59,040
負 債 合 計	59,040
正 味 財 産	5,447,299

計算書類に対する注記（2021年度）

1. 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金、預金、未収入金、前払費用及び未払金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は2.に記載のとおりである。

(2) 消費税は、税込方式を採用している。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現 金	18,962	17,282
普 通 預 金	3,090,921	4,965,070
未 収 入 金	0	80,000
前 払 費 用	275,095	443,987
(合 計)	3,384,978	5,506,339
未 払 金	69,135	59,040
(合 計)	69,135	59,040
次期繰越収支差額	3,315,843	5,447,299